

3/15日の雷電海岸アイス、ミックスクライミング 1ルンゼ～ドーム壁開拓

岡田 公作

朝3時45分に起床して4時30分 DZ 君をピックアップ
現地着は7時30分くらい、意外に冷えているようだ
双眼鏡をのぞくと3ルンゼの上部に亀裂があるのが見える
恐ろしい崩壊の瞬間を想像してしまう・かなり見てみたいけど w
まずはナイルの状態を確認しにいくとなんかいつもより氷が白く見えた
そしてその奥のビッグウェーブを見に行くと
下部がボツキリと崩壊しているじゃないか・この時点でテンションが下がる
所詮ツララのでかい奴だから重さと強度の関係でしかないんだよなあと頭をよぎる

この時点でナイルはやめて刀掛け岩に開拓にしよう！
とトンネルを抜けて行くと駐車帯がない！？
そんな事でUターン、1ルンゼからドーム壁を登ろうというプランに変更
8時駐車帯を出発した
1ルンゼは3、4に比べるとアプローチが短くていい
滝の基部着

1ピッチ目、自分がリード
たいして斜度がないなあなんて思ってたのと案外立ってるものです
50m 一杯伸ばして岩の基部の灌木にあった新しめの残置スリングで DZ 君を待つ

2ピッチ目、DZ 君リード
比較的緩い斜度の雪田を登って滝に取り付き左の灌木でビレー

3ピッチ目、自分がリード
なぜだかどんなだったか記憶無し……

4ピッチ目、DZ 君リード
落ち口の左の灌木でビレーしてたなっくらいしか覚え無し・
普通ならここで終了してラッセルするんだけど

5ピッチ目、自分コンテ
少し行くと二股になっていて左はドーム壁、右はまだ見ぬ！？氷瀑
15分ほどふくらはぎラッセルで最奥の滝基部へ

右岸にぶっ立っている氷がカッコイイけど高さはあまり無しと思ったけど意外にあった

6ピッチ目、DZ 君リード

そのぶっ立ち氷の一番悪そうなところをリードしている DZ 君が気づいた
ピックの刃はミックス用の刺さらない奴！笑
打ち込んだところの直径3、40cm がパシって白くなる笑
でも当然テンションいれることなく登りきるんですけどね

7ピッチ目、自分コンテ

奥に壁があればそこを攻めようという事で雪のルンゼをラッセルしてみるも
おそらく何もないように見えたので引き返しラッペルし
先ほどの二股左をラッセルしてドーム壁へ

壁に向かって左方向へ少し行くとよく登られているというドームチムニールート
その奥へ下って行くとドーム壁全貌が見えるところへでた
すごい迫力でそびえ立つ壁、威圧感に満ちている
上までは3ピッチくらい、どこから取り付こうか吟味している DZ 君
この時点で3時半すぎていた…
で取り付いたのは手前側の凹角

1ピッチ目、DZ 君リード 20m 強くらいかな

リスにトライカム、クラックにフレンズを決める、プロテクションは良い
7、8m の凹角状の岩の抜け口は頭がつつかえる感じでそこを上がるのが核心かな
リップの奥は凍った草着きでアックスがよく決まる
そこにダブルアックスで体を上げスタンスをきめ灌木を使って乗っこす
そこからブッシー地帯を抜けて左凹角状にあるクラックやら草着きやらを
使って上がり右のテラスにトラバースするんだがここが怖い！
DZ 君がぐいぐいすぐ横で引っ張るもんだから尚更怖い！笑
で快適な二人立てるテラスの良さげな灌木の支点到にセルフをとる
ここで夕暮れの光がドーム壁を赤く染めていたが陰になって太陽は見えなかった

2ピッチ目、DZ 君リード 40m ないくらいかな

ここでヘッデン装着

テラスの目の前のクラックのはいった岩を6m ほど登り、そこから傾斜の緩いところをほぼ木
登りし少し岩を登って快適なむき出しのテラスへ
ドームチムニールートの残置支点があるが腐ったピトンで信用ならない

着いた時には真っ暗闇で風が強かった

3ピッチ目、DZ 君リード 40m 強くらい
テラスを右に3m ほどトラバースしてリップを乗っこす
いいガバがあるのでアックスは使わず手登りし
リップを越える時だけ草着きにアックスをぶっさした
乗っこすとそこは稜線、緩い岩まじりの傾斜を登り
ピーク手前のブッシュの中の灌木で今日の終了点となった
new line “peach” M6

だがこれからラッペルの連続
コンテで DZ 君が降りて行きロープ一杯で後を追った
緩い傾斜から徐々にきつくなりここでラッペルする事になった
ブッシュがひどいのでガーデニング作業しロープの引っかかりがなくなるようにする
下のテラスに降り立ちロープを引くとするりと抜けてくれた
そして1ルンゼを下降
しばらく行くと滝の上部へ
ここから3回のラッペル祭り開始
しかし1ルンゼ1ピッチ目の残置支点でロープを引くもあれっ！？
ひっかかったようで DZ 君が登り返ししてくれて解消
そして滝基部に降り立ちギア分けしてると DZ 君がご到着
ロープ抜く時は出来るだけ壁から離れてひいた方がいいといった矢先に
またもやスタック!!??
本当は自分が登り返して行かなければならないところ
DZ 様にまたもお願いしてしまった・
もうあの氷を登る体力気力がなくなってしまうていたんです…
ごめんなさい
しかし長くて凄くて勉強になった一日
連れて行ってくれた DZ 君ありがとうございました、是非またいきましょう！

なんやかんやで雷電を出たのが23時30分すぎ帰宅は2時30分すぎでした

下山連絡が遅れて皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけした事この場を借りてお詫び申し上げます、申し訳ありませんでした、以後気をつけます。